

平成18年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期一般）
（専門試験） 日本語科学

全2枚のうち1枚目

設問Iは問1から問3まで全問日本語で解答すること。設問IIは問1か問2のいずれか一方を選択の上日本語で解答すること。

【設問I（必須問題）】

問1 以下の用語のうち5つを選んで、具体的に説明しなさい。なお、選択した用語の記号を付すこと。

- a. 両義文
- b. 二重ヲ格制約
- c. 補充法
- d. 言語連合
- e. 方言圏論
- f. アクセント核
- g. 鼻濁音
- h. 状態動詞
- i. かきませ現象
- j. 連体形

問2 日本語の促音には環境によって次のようにいくつかの変種がある。

かっぱ とった いっしょ けっか

- (1) 簡略音声記号でそれぞれの発音を表記しなさい。
- (2) これらの音の分布の規則を書きなさい。
- (3) この音の分布を何と言うか。

問3 日本語を態（voice）の観点から見るとき、どのような特徴があると考えられるか。

平成18年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期一般）
（専門試験） 日本語科学

全2枚のうち2枚目

【設問II（選択問題）】 問1か問2のいずれかを選択して日本語で解答すること。

問1

- 1) 新語 (neologism) は、どのような時に作られるのかを述べなさい。
- 2) 次に新語を見出し語（一番概念の広い言葉）として、以下の4つの用語の関係を述べ、またこれらの用語のそれぞれについて、日本語の場合を例にあげて説明しなさい。

新語： 借用語、流行語、カタカナ語、翻訳借用語 (calque)

問2 現存する最古の和歌集といわれる『万葉集』の和歌は、たとえば

熟田津尔 船乗世武登 月待者 潮毛可奈比沼 今者許藝乞菜（卷1・8）

（熟田津に 船乗りせむと 月待てば 潮もかなひぬ 今は漕ぎ出でな）

というように、すべて漢字のみを用いて書かれている。このうち、下線をつけた

潮毛可奈比沼

について言えば、「潮」と「可奈比」と「沼」とは、漢字で日本語を表記する原理が異なっている。どのように異なるか、説明しなさい。